

## 初島住彦\* 琉球列島新産アサガオ科植物

Sumihiko HATUSIMA : Three Noteworthy Convolvulaceous Plants

New to the Flora of Ryûkyû Islands.

最近琉球列島のアサガオ科植物で不明のもの3種が出て来たのでその内の2種を本科の専門家オランダ Rijksherbarium の S. J. OOSTSTROOM 博士に鑑定を依頼した結果、いずれも琉球列島に新しいものであることが判つた。今、以上3種について記して見たい。

1. *Aniseia martinicensis* (JACK.) CHOISY (1838) 数年前沖縄の東方海上にある北大東島の湿地で天野鉄夫氏が1948年に採られた変つたアサガオ科の一種を戴いたことがある。しかしsterileの標本であつたので、見当がつかず永くそのままに放置して置いたが、最近必要があつて調べた結果、やつとこれが上記の学名の植物であることが判つた。本種は従来比島以南のマレーシア、印度、熱帯アフリカに分布していたもので琉球列島に現われたことは、海流の関係かも知れないが、大変面白いことである。*Aniseia*属は約5種からなり、ブラジル及び東南アジアに分布し、従来台湾からも知られていなかったものである。北大東島産のものはsterileであつたが、葉が長楕円形で凹頭をなしているので ENGLER & PRANTL, Pflanzenfamilien 及び Flora Malesiana の立派な図から直ちに種名が判つた。和名は未だないのでナガバアサガオとしたい。

2. *Ipomoea sinensis* (DESR.) CHOISY (1833) 当教室に、昭和9年石垣島で高良鉄夫氏が採られたsterileの*Ipomoea* 1種があり、永らく疑問としていたが、1959年山口大学の岡国夫氏が石垣島で花のある同一種類の標本を採られ、私の所に送つて下さつた。早速調べて見たが、台湾産にも概当種がなくよく判らなかつたので、OOSTSTROOM氏に送つた結果、上記学名のものであることが判つた。本種の従来の分布は南支那、その他の熱帯アジア、東部及び中部アフリカで、琉球列島には新記録である。O氏は台湾にも産するように手紙に書いていたが、台湾に産することは未だ誰も報告したことがないように思う。和名は未だないので、ケアサガオと命名したい。

3. *Lepistemon binectariferum* (WALL.) O.K. (1891) 1959年与那国島に行つたとき、祖納(ソナイ)部落のすぐ前にあるテンダ鼻と称する隆起石灰岩の岩山に登つたが、途中で高さ5m位で葉はノアサガオの2倍位もあり、全株長柔毛を密布したアサガオ科の1種を見つけた。しかし残念ながら花も実も採集出来なかつたので、鑑定が出来ず遂にOOSTSTROOM氏に鑑定を依頼したところ、上記の学名のものであることが判つた。今、本種の簡単な記載をなすと次の如くなる。葉は広卵形乃至卵円形で長さ5-12cm、やや鋭頭、深心脚、全縁または時として多少3裂し、両面共に長軟毛を密生する。花は腋生、2~3花、繖房状に生じ葉柄より短かく、花梗は短かく時として0、小梗は長さ7mm以下、花冠は壺

\* 鹿児島大学農学部 Facult. Agric. Kagoshima Univ.

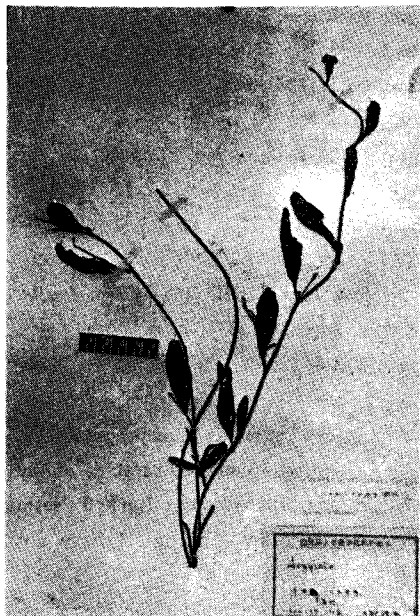


Fig. 1. *Aniseia martinicensis* CHOISY  
from Isl. Kita-Daitō

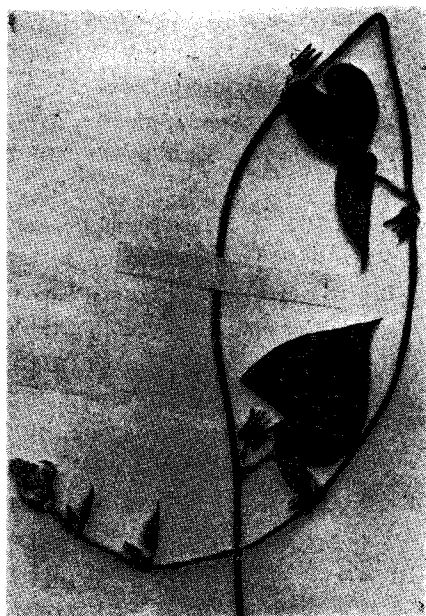


Fig. 2. *Ipomoea sinensis* CHOISY from  
Isl. Ishigaki (OKA; No. 14176)  $\times 0.8$

形で長さ 12-15mm, 白色または帯黄白色, 萼片は卵形乃至披針形で長さ 5-7.5 mm, 蒴は球形または卵形で高さ 6-8 mm, 種子は 4 個以下で長さ 3-4 mm. 本種の従来の分布はアッサム, ビルマ, 印度支那, 海南島, 馬來半島, スマトラ, ジャワ等である。なお本種には一変種 *var. trichocarpum* (GAGNEP.) OOSTST. (1943) がありこれは比島, セレベス, モルツカ諸島に知られ基種に比し萼は帯灰色で遙かに短かく, 毛は開出せず, 子房は有毛で, 種子に微毛がある由である。

O氏によると本変種と基種は葉では区別出来ない由であるから, 与那国島産のものがどちらの型に属するか, 完全な標本が未だ入手出来ないのも不明であるが, 八重山に産する多くのマレーシャ要素の分布様式と台湾に産しない点から考え与那国島産のものは本変種に属するものではないかと想像する。

### Summary

*Ipomoea sinensis* (DESR.) CHOISY in Mém. Soc. Phys. Gênev. 6 (1833) 459—*Convolvulus sinensis* DESR. in Lamk., Encycl. 3 (1789) 557

Hab. Ryûkyûs : Isl. Ishigaki, K. OKA 14176, Aug. 6, 1959 ; T. TAKARA, Aug. 25, 1934

**Distr.** Formosa?, S. China, tropical Asia and Africa.

A new addition to the flora of the Ryûkyûs!

**Aniseia martinicensis** (JACQ.) CHOISY, Conv. Rar. (1838) 144—*Convolvulus martinicensis* JACQ., Select. Strip. Am. (1763) 20, t. 17

**Hab.** Ryûkyûs : Isl. Kita-daitô (Isl. Borojino), T. AMANO, Jan. 27, 1948, in the littoral marsh.

**Distr.** Malesia, Polynesia and tropical Africa.

A new addition to the flora of the Ryûkyûs!

**Lepistemon binectariferum** (WALL.) O. K., Rev. Gen. (1891) 446—*Convolvulus binectariferus* WALL. in Roxb. Fl. Ind. ed. Carey, 2 (1824) 47

**Hab.** Ryûkyûs : Isl. Yonakuni, S. HATUSIMA 24595, Oct. 27, 1959, a rare climber in the low land thicket, alt. 50 m.

**Distr.** Assam, Burma, Indo-China, Isl. Hainan, Malay Peninsula, Sumatra and Java.

A new addition to the flora of the Ryûkyûs. Judging from the examples of the distributional pattern of the Malesian element in the Ryûkyûs; the Ryûkyû form may belong to var. *trichocarpum* (GAGNEP.) OOSTSTR. (1943), though I have not yet seen the flowers and fruits.

I have indebted to Dr. S. J. OOSTSTROOM of the Rijksherbarium for the identification of *Ipomoea sinensis* CHOISY and *Lepistemon binectariferum* O. K.

訂正 11巻3号77頁の *Struthiopteris Hancockii* TAGAWA の和名を、ハンコクシダとしたのは誤りでハクウンシダと訂正(初島)